

様式第5号 (第6条関係)



令和 5 年 4 月 20 日

羽曳野市議会議長 様

- 会派名 公明党
- 代表者名 通堂 義弘
- 議員名



(令和4 年度 第 4 四半期) 政務活動費収支報告書

羽曳野市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、政務活動費の交付の対象となる政務活動費に要した収入及び支出について、下記のとおり報告します。
記

1 収入
交付済額 283,842 円

2 支出

項目	金額	政務活動費を充てた主な経費	※ 第1四半期から 第4四半期の合計金額
調査研究費			
研修費			
広報費	35,200	市議会ニュース発行費	104,682
広聴費			
要請、陳情活動費			
会議費			
資料作成費	59,522	カラー複合機リース費・印刷費	249,132
資料購入費	14,250	新聞購読料	39,000
計	108,972		392,814

※第4四半期の実績報告を行う場合は、第1四半期から第4四半期の合計金額を記入すること。

様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	広報費：市議会・市政報告「笠原由美子通信」2022年秋号 作成費	
支出額	35,200円	※消耗品の場合
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	円	【使用場所の区分】
(按分： %)		<input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室
		<input type="checkbox"/> 議員事務所
		<input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所
		<input type="checkbox"/> その他
		(所在地：)
		<input type="checkbox"/> 自宅内事務所
		<input type="checkbox"/> その他 ()
3,000枚	32,000円+3,200円(消費税)	=35,200円
<p>～ 領 収 書 ～</p> <p>羽曳野市議会 公明党議員団 <u>笠原由美子</u> 様</p> <p>R4年11月18日</p> <p>¥ 35,200.-</p> <p>上記の通りに領収いたしました 笠原由美子通信 2022年秋号 印刷.デザイン一式 A4 1/4. 3,000枚</p> <p style="text-align: right;">田中晴美</p> <p>〒580-0003 大阪府松原市一津屋4-0-24 ☎ 090-2597-9909 ☎ 072-332-0647 🌐 http://harumi-art.com ✉ info@harumi-art.com</p>		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。



— Kasahara Yumiko —

笠原由美子 通信

2022年
秋号 発行

公明党羽曳野支部 笠原由美子市政相談所
羽曳野市南恵我之荘1-4-3
TEL: 072-954-7848
E-mail: yumi2002@iris.eonet.ne.jp



会派・公明党
— KOMEITO —

公明党

＊ ＊ 皆様こんにちは、笠原由美子です ＊ ＊

「かさらは由美子」通信ができました。ご高覧頂けたら幸甚です。秋を感じながらも、途端に寒い日が続く毎日ですが、皆様お元気ですか。季節の変わり目は、体調を崩しやすくなります。どうかご自愛ください。

さて公明党が結党した1960年代当時、日本の政界は保守と革新のイデオロギーによる抗争が激化し、政治の舞台で庶民は置き去りにされていました。そんな中、政治を庶民の手に取り戻し、庶民を守り、地域住民の手足となって働くために結成されたのが、現在の公明党です。

結党以来のスローガン『大衆とともに』の精神こそ、他の政党にはない比類なき団結力で連携する「ネットワーク」の力の源なのです。市議会公明党もこの基本精神を心肝に日々頑張っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



公明党、総合経済対策で首相に提言(10月14日)

物価やエネルギー価格高騰を踏まえ政府が検討を進めている総合経済対策の策定に提言を行い

- * 電気、ガス料金で実感できる負担軽減
 - * 子育て世帯に伴走支援
 - * 中小企業の賃上げへ補助金拡充
- またガソリン代の価格高騰をに対する激変緩和事業を来年1月まで延長を訴えました。

「保育園・幼稚園・認定こども園における園児を守る事故防止対策」を市長要望

静岡県牧之原市において、あまりにも残酷な女児死亡事故は、当たり前なのが疎かになった中で起きた事故です。羽曳野市の児童を守る対策を強く要望しました。



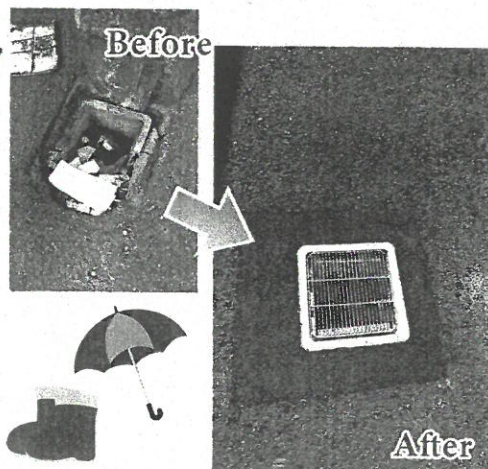
長期欠席議員等の議員報酬に制度改革を実行

議会改革特別委員会委員長として、4回の議会改革特別委員会を開催し『長期欠席議員等の取扱』に対し議長からの諮問に、委員長として答申をお届けしました。長期欠席をしても支給される議員報酬について委員間で協議を重ね、市民に納得いただける制度改革を実行する事とし9月議会で成立をすることが出来ました。



皆様の声を実現しました!

高鷲地域で生活道路ど真ん中の水路開所の老朽化により、地域の方の歩行中の危険が増し、大雨にもお困りでしたが修復が出来ました。



令和4年度 第3回市議会

一般質問 2022.9.7



QRコードから議会の映像が見れます ▲



質問 1 就学援助制度について

質問 小・中学校で必要な学用品や給食などに係る費用を市町村がサポートする仕組みで、親の経済力に関わらず、しっかり義務教育を受けることが大事。特に入学時、大きな準備金が必要、進学に必要な経費を入学前の申請で取り組めないか質問。

答弁 本市の就学援助制度は、新入生の新入学用品費や通学用品費、日常の学用品、校外活動費、宿泊を伴う校外学習費、修学旅行費、小学校給食費などの費目があり、中学校は体育実技用具費等。支給額は、小学校1年生が最大で11万2,000円程度、義務教育学校7年生を含む中学校1年生は最大9万8,000円程度である。

市長答弁 就学援助制度の就学前の支給については、令和4年度内での支給に向けて制度設計を進めていく。



羽曳野市小中学校の入学前の就学前援助金を実施することが実現!

質問 2 市独自のマイナンバーカード利活用について

質問 マイナンバーカードは、社会保障・税番号制度と呼ばれ国民生活を支える社会的な基盤の制度。市独自の市民の利便性を考慮した取組を質問。

答弁 令和4年9月を取得促進重点月間と位置づけ、出張申請サポート事業の強化を行っている。独自の取組は、コンビニ交付。ぴったりサービスでマイナンバーカードにより本人確認を行い、現在10の手続きが出来る。今後は介護関係の手続や妊娠届、選挙の不在者投票用紙の請求など準備中です。



質問 3 羽曳野市版ネウボラの経過について

質問 本年4月よりこどもえがお部が新設され、子育ての一括した取組を担当する。その組みとネウボラとの整合性について聞く。

答弁 4月の機構改革で、こどもえがお部内にこども家庭支援課が設置され、子育て世代包括支援センターの機能とこども家庭センターの設置が市町村に求められる、本市では先行的に同様の機能を整えている状況です。

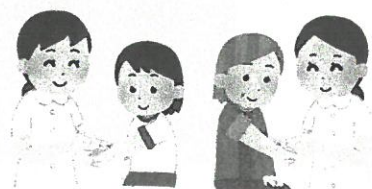


質問 4 防災士資格の取得について

質問 市職員の防災士の資格と資格取得経費の支援の考えを質問しました。



コロナ感染症 第8波における インフルエンザ予防接種の 無償接種を 実現しました!



2021年12月議会で冬季に懸念されるコロナ感染症とインフルエンザの同時感染を回避するため、75歳以上と受験を控えた中学3年生・高校3年生のインフルエンザ予防接種の無償化とその実施を質疑要望し、実現することが出来ました!!

領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：コピー機のリース料	
<p>支出額 <u>111,540円</u></p> <p>※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額</p> <p><u>55,770円</u></p> <p>(按分：50%)</p>	<p>※消耗品の場合</p> <p>【使用場所の区分】</p> <p><input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室</p> <p><input type="checkbox"/> 議員事務所</p> <p><input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>(所在地：)</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅内事務所</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	
<p>複合機リース料：1月～3月分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円) ・2月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円) ・3月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円) <p style="text-align: right;">計 111,540円 (1/2 55,770円)</p>		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

支払証明書

番号	支払年月日	項目	支払額(円)	支払先	使途及び支払内容	領収書を徴し得ない理由	備考
①	2023年1月4日	資料作成費	18,590	三井住友 トラストファイナンス	カラー複合機のリース料	銀行口座自動引き落としの為	37,180円×按分率1/2
②	2023年2月3日	資料作成費	18,590	三井住友 トラストファイナンス	カラー複合機のリース料	銀行口座自動引き落としの為	37,180円×按分率1/2
③	2023年3月3日	資料作成費	18,590	三井住友 トラストファイナンス	カラー複合機のリース料	銀行口座自動引き落としの為	37,180円×按分率1/2
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							

上記のとおり相違ないことを証明します。

2023年4月20日

会派名 公明党

代表者名又は議員名 通堂 義弘

※按分により政務活動費の支出を行った場合には、「備考」欄に支払総額及び按分割合を記載すること。

リース お支払明細書

2021年5月24日作成

貴客 賜下りますますご清栄のこととお慶び申し
上げます。

このたびは、弊社をご利用いただきまして、誠
にありがとうございます。早速でございますが、
ご契約いただきました内容を、お知らせ申上げ
ますので、ご確認賜りたくお願い申し上げます。
万一、ご不明な点がございましたら、弊社まで
ご連絡くださいますようお願い申し上げます。今
後ともご取引のほどよろしくお願い申し上げます。
敬 具

品名 5003023740
台数 1
備考 左記他 商品

720707
096333
ネットシステム (株)

リース期間	自 2021年 5月 13日
	至 2027年 5月 12日
	72 ヶ月

月間リース料	33,800 円
消費税額等	3,380 円
合 計	37,180 円

支払	第1回支払日 2021年 7月 3日
	第2回支払日 2021年 8月 3日
	第3回日以降 毎月 3日

前払リース料	0 円
消費税額等	0 円
合 計	0 円

※前払リース料は消費税額等には利息は付しません。

引当金融機関

金庫種別
支店名
口座番号
口座種別
口座名義人

コウメイウ カサハラミコ

回	お支払 目	年	月	リース料 円	消費税額等 円	回	お支払 目	年	月	リース料 円	消費税額等 円
121	7			33800	3380	4325	1			33800	3380
221	8			33800	3380	4425	2			33800	3380
321	9			33800	3380	4525	3			33800	3380
421	10			33800	3380	4625	4			33800	3380
521	11			33800	3380	4725	5			33800	3380
621	12			33800	3380	4825	6			33800	3380
722	1			33800	3380	4925	7			33800	3380
822	2			33800	3380	5025	8			33800	3380
922	3			33800	3380	5125	9			33800	3380
1022	4			33800	3380	5225	10			33800	3380
1122	5			33800	3380	5325	11			33800	3380
1222	6			33800	3380	5425	12			33800	3380
1322	7			33800	3380	5526	1			33800	3380
1422	8			33800	3380	5626	2			33800	3380
1522	9			33800	3380	5726	3			33800	3380
1622	10			33800	3380	5826	4			33800	3380
1722	11			33800	3380	5926	5			33800	3380
1822	12			33800	3380	6026	6			33800	3380
1923	1			33800	3380	6126	7			33800	3380
2023	2			33800	3380	6226	8			33800	3380
2123	3			33800	3380	6326	9			33800	3380
2223	4			33800	3380	6426	10			33800	3380
2323	5			33800	3380	6526	11			33800	3380
2423	6			33800	3380	6626	12			33800	3380
2523	7			33800	3380	6727	1			33800	3380
2623	8			33800	3380	6827	2			33800	3380
2723	9			33800	3380	6927	3			33800	3380
2823	10			33800	3380	7027	4			33800	3380
2923	11			33800	3380	7127	5			33800	3380
3023	12			33800	3380	7227	6			33800	3380
3124	1			33800	3380						
3224	2			33800	3380						
3324	3			33800	3380						
3424	4			33800	3380						
3524	5			33800	3380						
3624	6			33800	3380						
3724	7			33800	3380						
3824	8			33800	3380						
3924	9			33800	3380						
4024	10			33800	3380						
4124	11			33800	3380						
4224	12			33800	3380						
合計											
										2433600	243360

領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	3,468円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地：) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ()
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	1,734円	
(按分： 50%)		
コピー機 12月カウンター料		

領 収 証

No.002838

2023年11月26日

公明党 羽曳野市議団様

金額

¥3,468-

但し 12月 カウンター料として
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

税 抜 金 額

消 費 税 額 等 (%)

ネットシステム株式会社

〒584-0036
大阪府富田郡甲田1-10-12
TEL. (072) 23-7611(代)
FAX (072) 23-7650

担当印

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。

領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	2,084円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地：) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ()
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額 1,042円 (按分： 50%)		
コピー機 1月カウンター料		

領 収 証

No.002804

2023年2月27日

公明党 羽曳野市議団 様

金額

¥2,084-

但し 1月カウンター料として
上記の金額正に領収いたしました

収 入
印 紙

内 訳

税 抜 金 額

消 費 税 額 等 (%)

ネットシステム株式会社
〒584-0036
大阪府富田 甲田1-0-12
TEL.(072) 737811(代
FAX.(072) 737656

担当印

※1 ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。

領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	1,952円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地：) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ()
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	976円	
(按分： 50%)		

コピー機 2月カウンター料

領 収 証

No.002823

2023 年 3 月 27 日

公明党 羽曳野市議団 様

金額

¥1,952-

但し 2月分カウンター料として
上記の金額正に領収いたしました

取 入
印 紙

内 訳
税 抜 金 額
消費税額等(%)

ネットシステム株式会社
〒584-0036
大阪府東淀川区甲田1-10-12
TEL. (06) 23-7611(代)
FAX (06) 23-7650

担当印

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
※補足事項があるときは、余白に記入すること。

領 収 証

羽曳野市議会 公明党
通堂 義弘 様
(コード: 69 - 483253)

金 額 : ¥33,000-

但し 日本教育新聞 購読料

購読期間(年月) : 2022年6月 ~ 2023年5月

支払方法 : クレジットカード決済

領収日 : 2022/6/18

上記の金額正に領収いたしました

株式会社日本教育新聞
東京都港区白金台 10
TEL 03-3280-625

印 収
紙 入

扱
者
印

企画特集「18歳成人」（12〜14面）／どうなる部活動改革、スポーツ庁長官ら3氏座談会



教育界と共に歩んで
76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日
発行所
日本教育新聞社
〒108-8638
東京都港区白金台3-2-10
電話 03(3280)7008(大代表)
郵便振替 00150-8-196500
©日本教育新聞社 2023
購読申し込み 03(3280)7025
Eメール kodoku@kyoiku-press.co.jp
ホームページ http://www.kyoiku-press.co.jp



このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

新春版 特別紙面のご案内

今週は新春版の特別紙面で構成しています。部活動を主題に室伏広治スポーツ庁長官らが語った座談会の模様を2、3面に、これも家庭庁設立準備を担う小倉将信担当相のインタビューを4面に掲載します。

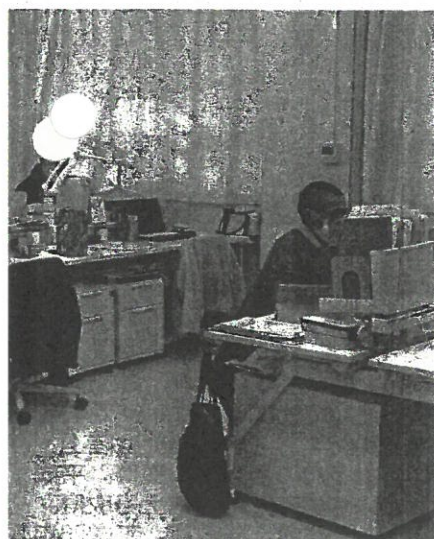
職員室から働き方改革

教職員の長時間勤務を是正しようと、全国で模索が続く。現場レベルで業務量を減らすことは容易ではないが、効率化であれば、知恵とお金でできることはまだありそうだ。教職員にとって最も身近な職場となる職員室で今、どんな工夫があるのか。

ここは書類棚らしい棚が見当たらない、およそ公立学校らしくない職員室だった。パソコン以外にデスクの上には、ほとんど何も置かれていない席まである。職員室の中央部に置かれた半個室のブースでは2人の職員が談笑していた。

ここは島根県立津和野高校（津和野町）。「センセイオフィス」と命名された職員室だ。

室内が機能面で分かれて



く」。ペーパーレス化で棚をた

の資料に目を通してきた。それが来てみると本棚もロッカーも物を入れるスペースもない。机の引き出しも横一っただけ。それは面食らいましたよ」と笑う。

センセイオフィスに改修したのは3年前。津和野高校は統廃合の危機を迎えていた。当時を知る同校の高校魅力化コーディネーター

書類棚なし、資料は電子化

の玉木愛実さんは「存続のためなら何でも積極的に取り入れようという雰囲気でした」と振り返る。

地域学習から大学進学まで、幅広い生徒に対応するため教員の業務は決して軽くはなかった。それでも業務を効率化し、生徒のための時間を増やすにはどうしたらいいのか。

目を付けたのが職員室の改革だった。IT大手ヤフーと実験的なオフィス設計を手掛けたスイスの家具メーカー「ヴィトラ」に相談を持ち掛けた。社員と同校のメンバーが約1年ワークショップを重ね、業務の課題になってるのは何か、どんな働き方をしたいのか、意見を出した。

そこで固まったのがスペースを広く確保し、教員同士の話し合いや生徒との面談ができる空間だった。引

つ越し作業は、教職員と力自慢の運動部の生徒たちが約2日間で終えた。ヴィトラのマーケティングディレクター・蘆原恵理さんは言う。「コミュニケーションを最大限、活性化する空間をつくるのが大きなテーマだった。『作業するための場所』としてのオフィスの存在価値は今後薄れてくると思うが、複数の人が集まり話し合い、新しいものを生む機能は絶対になくならない」



附属世田谷スクリーン

職員室も開き、対話もした」と変化した。生徒から職員室に「入りやすい」と答と、改修前と、コミュニケーションを取りやすい生徒は75

企画特集「学校防災」(10〜11面) / NEWS インサイド 自転車用ヘルメット義務化で学校は(3面)



教育界と共に歩んで
76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日
発行所
日本教育新聞社
〒108-8638
東京都港区白金台3-2-10
電話 03(3280)7008(大代表)
郵便振替 00150-8-196500
©日本教育新聞社 2023
購読申し込み 03(3280)7025
Eメール kodoku@kyoiku-press.co.jp
ホームページ http://www.kyoiku-press.co.jp



このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

注目記事

戦争と平和、紙芝居で学ぶ
ロシアによるウクライナ侵攻で、現代を生きもたちにも戦争がより身近に感じられるようにこの1年、紙芝居を通し、戦争と平和に関する設けた中学校を取材した。

校務・学習データを統合

次世代システムで最終案

情報の一覧化も促進

校務の情報化について検討している文科省の専門家会議が最終まとめた案を了承した。次世代の校務支援システムの在り方として、校務系と学習系のデータをインターネットのクラウド上で統合し、教職員の端末から接続できるようにすることを掲げた。また、各種データを画面に一覧化して表示するダッシュボードの活用を促す方針も示した。

専門家会議

最終まとめ案では今のネットワークを分離後、校務の情報化に向けていたり、クラウド

成30年度から令和4年度までの5年計画で、毎年1805億円の地方財政措置が行われてきたが、2年間延長することになった。今後の環境整備には次世代システムを備えた1人1台の指導者用端末や、ダッシュボード機能の導入を中心に進めることとし、

までの2年間に仕様策定やシステム設計に取り組みことを示した。

ダッシュボード機能を導入した次世代システムは、東京都渋谷区

4大学 へき地、小規模校の実践共有

へき地・離島や小規模校での教育の充実を目的に、国立の4大学が2月28日、連携協定を結んだ。附属学校で小規模校での教育の成果を大学間で共有した。

の窓口は北海道教育大学の窓口に北海道教育大学に置く。これまでは研究室単位で取り組んできた、へき地・離島、小規模校での教育の成果を大学間で共有した。

協定締結式には各大学の学長・学部長が出席した。北海道教育大学の蛇穴治夫学長は締結式後の会見で「学校の小規模化は全国で進

実務家教員を2割に

養成学部配置基

やさいたま市など一部の自治体で活用が進んでいる。
児童・生徒の学習履歴や出席状況・保健室利用などのデータを統合。指導方法の改善や学校生活の満足度などの把握に役立てている。一方で端末のウェブ検索履歴の収集などはプライバシー保護の観点からの課題も指摘されている。

文科省は近く、最終まとめを公表する。

文科省は教員養成学部の実務家教員の配置基準を設定する方針を示した。最低限必要な教員数の2割以上とする。変化の激しい学校現場の実態を踏まえた指導ができるようになる。

配置基準は令和8年度以降に改組手続きをする大学が対象。本年度、国立の教員養成大学・学部での実務家教員の割合は16.1%だった。教職大学院は既に、4割以上とする基準がある。
昨年末の中教審答申では「変化の激しい時代にあって、学校現場の優れた実践者が教員

様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	資料購入費：部落解放同盟新聞		
支出額	6,000円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地:) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ()	
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	円		
(按分: %)			

2022年4月分～2023年3月分 6,000円 12ヶ月分



領 収 証

No 002959

氏名	笠原由美子 様		2023年 3月 8日	
支 部 費				
新 聞 代	22/4 ~ 23/3	12ヶ月x500	6,000	
計			76,000	
部落解放同盟向野支部	担		台帳	日報

(2018年10月納)

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。